

## 令和4年度 第1回 三木市中小企業振興審議会議事録

- 1 日時・場所 令和5年3月14日(火) 午後6時00分から午後7時45分  
市役所4階 特別会議室
- 2 出席者 <委員7名>  
西井会長、五本上委員、川西委員、桑田委員、小林委員、廣田委員、三村委員  
<事務局8名>  
仲田市長、赤松産業振興部長、小山商工振興課長、三又商工振興課係長、田中商工振興課係長、小阪商工振興課主事、田井商工振興課主任、友定商工振興課主事  
<オブザーバー1名>  
正木中小企業サポートセンター長
- 3 欠席者 1人
- 4 会議の公開、非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 開 会
- 7 議 事

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | 本日の議事の(1)、中小企業振興施策アクションプランの実施状況について説明願います。  |
| 事務局 | 資料1「第2次中小企業振興のためのアクションプラン」について説明<br><br>資料2「令和4年度 第2次中小企業振興のためのアクションプラン 目標値・実績値 進行管理表」について説明<br><br>資料3-1「令和3年度 中小企業振興施策の実施状況」および資料3-2「令和4年度 中小企業振興施策の実施状況」について説明 |

|     |  |
|-----|--|
| 会長  | 説明は終わりました。<br>何かご質問ありませんでしょうか。   |
| 委員  | 令和3、4年度目標に対して、実施状況、未達項目が同じような項目が多いのではないかと思いますのですが、その要因と、目標に対して達成するためのK P Iというものはどうなっているのでしょうか。   |
| 事務局 | <p>目標値というのは以前に設定したものですので、この目標値については数値の変更はしておりません。確かにコロナ禍というところもございしますが、それ以外の項目でも未達がございます。</p> <p>例えば、資料3-1の1ページ目の設備投資促進事業という中で、中小企業経営革新設備投資促進事業の補助件数目標25件のところが実績13件となっております。これにつきましては、他の事業再構築補助金やものづくり補助金等の、国の有利な補助金が多くある中での実績でした。</p> <p>三木市としましては、令和5年度にDX枠を設けることを考えております。中小企業経営革新設備投資促進事業については、通常枠の補助率が4分の1、経営力向上計画の承認や経営革新計画の認定があれば3分の1、上限300万円というところが、DX枠についてはそのような計画書も必要なく、DXに係る設備投資に対して2分の1、上限300万という内容で、新たな補助制度として拡充することで、目標に近づけていきたいと思っております。</p> <p>また、他の項目では、例えば日本政策金融公庫の創業融資自体が減少しています。起業家支援利息補給の件数は日本政策金融公庫の融資件数と連動して少なくなっているというところがございますし、創業実現者数の目標15人のところ、実績が10人というのは、その辺りが関連しているのではないかと考えます。こちらにつきましても、中小企業サポートセンターを中心に、セミナー等を開催しながら進めている次第です。</p> |
| 委員  | なかなか難しいというところだと思うのですが、補助金も実際に目標を立てられていますので、目標を達成するために事業者のニーズというか、その辺りを吸い上げることが重要かと思えます。  |
| 会長  | それでは委員の皆様順番にご意見等いただければと思います。   |
| 委員  | <p>アクションプランに対しての実施状況ですが、過去二年では特にコロナの影響があって、実施するのが難しかった部分があるというのは否めないと思います。</p> <p>先ほどご説明あったDXに関して申しますと、事業者の立場からすると、例えばどういった取り組みが対象になるのか、という部分がなかなかわからない。</p>   |

|            |  |
|------------|--|
| <p>事務局</p> | <p>あるいは、補助金に関して会社の中で誰ができるのか、またそういうことをどこに相談したらいいのかがわからない、という部分がまだ結構あるのだらうと思います。</p> <p>経営革新設備投資促進事業補助金等を申請もしているのですが、国、あるいは日本政策金融公庫など、様々な補助金があり、わかりづらいという部分も正直なところあります。</p> <p>信用金庫や銀行から補助金の案内をいただくのですが、正直どのようなことをすれば使えるのかということがわからない企業、私どもも含め、多いのではないかと思います。</p> <p>そういう意味で、セミナーのようなものを開催することも一つの方法かなと思います。特に三木市だけではなく、他市の例のようなものがあるとわかりやすいと考えます。</p> <p>こういう制度があるということだけでは、なかなか申請しにくい。特に中小企業の場合は専門の従業員がいるわけではないということもあります。経営者としても、日々の自分たちの事業の方に時間なり関心なりが割かれていて、制度をうまく利用するということができず、このような実施状況になっているのではないかという気がします。</p> <p>また、三木市の場合は金物、ゴルフ、それから山田錦と、他の市町村からすると、三つも柱があるということをよく言われます。それを総合的にコラボレーションするなど、そういうことも必要なのではと思います。</p> <p>そういう意味では、道の駅みきにこの度、常設の金物驚ができたということでメディアに取り上げていただいた。実際私も昨日行ってきましたが、テレビで見たから来たということをおっしゃる方もいらっしゃいました。だからそういう部分の情報発信も、もっと必要ではと思います。</p> <p>そういう意味では、市、あるいは商工会議所も協力しながらできる部分というのがまだまだあるのではないかという気がします。</p> <p>先ほどのDXの件も関係しますが、コロナ禍以前には中小企業サポートセンターの方で、商工会議所や金融機関と一緒に、補助金説明会を開催していました。5～60人の出席者があり、会場が満席になるなど、非常に人気がありました。その説明会では、市の補助金も含め、有利な補助メニューの紹介や補助金の内容の説明などをしていたのですが、コロナ禍で説明会が開催できなかったということがございます。</p> <p>また、中小企業サポートセンターの方で、窓口で待っているだけではなく企業訪問も行っておりましたが、これもコロナ禍の中で、企業を訪問しにくいところがあったので、そのようなところをまた戻していきたいと思っております。企業の皆様お忙しいかと存じますので、窓口に来ていただくというよりは、コーディネーターの方から</p> |
|------------|--|

|            |  |
|------------|--|
| <p>委員</p>  | <p>出向いて、相談に乗らせていただくということをやっていきたいと思っております。</p> <p>また、先ほど三大資源の話がございましたが、ちょうど私も常設金物鷺のテープカットのところを、後ろから覗かせていただきましたけども、非常に良いものになっております。これから三木市としましても、各団体と連携しながら、PRの一つとして活用していきたいと思っております。他の三大資源である山田錦、ゴルフと絡められないかというところもございますし、万博も2025年にありますが、そういったところで何か良い活用がないか考えてまいりたいと思っております。</p> <p>企業としてはDXのところの、設備投資に非常に興味があります。どこに行けば情報が得られるのか、どういうプロセスで補助金の獲得に辿り着くのかというところに非常に興味があります。全ての分野でそうですが、もう少しかみ砕いて企業がすぐに情報にたどり着けるように、市役所の担当者と意見が交換できるようなプロセスを構築していただければいいと思います。</p> <p>また、コロナ禍で全てのものが停滞している中で、よく市役所の方、商工会議所の方はこれだけのことをやっていただいたと感謝しております。</p> <p>そして、確実に今年は状況が変わっていくと思っております。ですので、今年は徐々に数字を伸ばしていけるのではないかと思います。</p> <p>三木市の輸出統計を見ますと、コロナ禍でもすごくいい数字が出ております。でも、これはコロナ禍で供給網が乱れ、物流が乱れ、今必要でないものでも大量に買ったというような背景もありますので、ここにおいても今年が下方修正に入るのか、必ず調整が入ってくる時期ですので、我々はそれをどうサポートするかというのも大事なところだと思っております。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>コロナ過における巣ごもり需要の中で、輸出額の方も平成初期の時代の水準にまで伸びており、市内の事業者には非常に頑張っていると思っております。</p> <p>また、先ほどDXとはというお話がありましたが、製造業であれば生産管理や工程管理、それから卸売業でも在庫管理、販売管理、受発注といったところのシステムを、自社で購入してカスタマイズする場合にはDXに該当すると考えております。</p> <p>もっとわかりやすく言いますと、ソフトウェアと周辺機器、パソコンなど、そういったものがあればDXであるということで考えております。それから、今流行りの3DCADであるとか、測定器、検査機といった機械的なものであっても、デジタルを活用している要素が高いものであれば、DXに該当すると思っております。そういった具体的な事例というの、募集要項の中で示させていただきます。</p>   |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <p>もしDX枠に該当しなくても、一般的な加工機械やロボット等については、従来どおりの設備投資の補助金も活用できます。ただし、DX枠の方が補助率が高くなっておりますので、そういったところにつきましては、5月からの募集に間に合うよう、できるだけ早く周知をしていきたいと思っております。</p> <p>資料の説明を受けた中で、数値の上がり下がりや矢印をつけてみたのですが、まさにコロナの影響がみられるというところで、令和3年頃のデータというのは、あまり参考にならないというように思います。そこであまり反省するといったことよりも、今年、来年のデータをしっかり取って見極めたいという考えで、次の5か年の計画に活かしていくべきだと思います。もちろんイレギュラーは想定しないといけませんが、これだけのコロナ禍というのはなかなか想定しづらく、データとしても使いにくいと思います。ある程度この部分は省いてもいいような気もしています。</p> <p>また、先ほど言いましたように矢印をつけていく中で、商店街の実質空き店舗率が良くなっている。もし何か理由があれば教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>商工会議所と一緒にパワーアップ事業という事業をさせて頂いておりますが、令和4年度では3件、新しく空き店舗に出店をしていただくという事業者がございました。</p> <p>また、中小企業サポートセンターの5人のコーディネーターの相対的な意見としては、三木市の人口規模の中では、新規で創業しようという方が比較的多いと感じる、というご意見がありました。若い方が飲食店を始められるというようなこともあり、創業ということへの意欲が高いという感想を頂いております。</p> <p>また、創業支援セミナーということで、定員15名で開催させていただいたところ、定員一杯の15名の方がご参加いただいたということもあり、創業に対する意欲が高いということを感じております。</p>   |
| 委員  | <p>商店街というとシャッターが閉まっているなど、厳しい感じがあるのかと思ったのですが、それが良くなっていたので、何か活気があるような取り組みをされているのかと思います、お聞きした次第です。</p>   |
| 委員  | <p>DXも含め、企業が抱える様々な課題、こういったことをしたいけどどこに相談すべきか、何をすればよいのか、というご質問がございました。金融機関としましては、お客様に寄り添った伴走支援ということで、お客様の課題を汲み取ってそれに対応するという取り組みをしております。</p> <p>金融機関の方では、担当者が訪問させていただいた時に、制度を紹介させていただいたり、あるいは専門家につないだりといった取り組み</p>   |

|            |  |
|------------|--|
| <p>委員</p>  | <p>みをしております。</p> <p>また、インボイス制度への対応というのが迫られているということもございますが、そういった場合でも、例えばこういったベンダーを使えば、システムやソフトの導入に、IT導入補助金といった制度が使えるといったお話しもできるのではないかと思います。身近に金融機関の訪問担当者がおるかと思しますので、そちらに気軽に相談されるのが、一番良いかと思います。</p> <p>中小企業サポートセンターですが、三木市の人口規模の市では他に無い珍しいものかと思えます。以前に企業訪問ということで来られて、そこで初めて知りました。</p> <p>もちろん今言われたように金融機関でいろいろお手伝いいただいたらいいと思うのですが、せつかくこのサポートセンターがあるということで、もう少し上手くPRできないかなと思います。非常にもったいないと思うところがあり、以前お聞きしたときに、今日は相談に何人来ただろうかというようなこともございました。せつかく交代で担当者が来て支援していただいておりますので、忙しいくらいになれば一番いいと思えますし、そうなるくらいに活用が必要だと思います。商工会議所もそうですが、いかにこれを周知、PRして利用していただくかというところが一番大きなネックだと思います。</p> <p>また、先ほど言われたインボイス制度ですが、こちらも差し迫っております。そうしたことも含め、中小企業に対するやさしいDXといえますか、DXはどうしてもお金がかかるというイメージが多いので、中小企業にできることとできないこと、どこまでやればいいのかというところがやはり疑問としてあります。</p> <p>あと先ほど補助金の説明会の話の中で、50人来られましたという話がありましたが、50人で満足なのかということをおもいます。そのあたり、三木市だけが頑張ってもらいたいというわけではなく、商工会議所も協力して前進していきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>セミナーについてですが、こちらは商工会議所、商工会、金融機関と三木市とで連名で開催しておりました。近年はコロナ禍でなかなかそういう機会がなかったのですが、せつかくこの審議会でメンバーが揃っているということもありますので、様々な課題についてのセミナー等も考えていきたいと思っております。</p> <p>また、もともと平成26年に中小企業サポートセンターができた時に、創業支援に力を入れようということで、商工会議所、商工会それから、名乗りをあげていただいた兵庫県信用組合三木支店の4つの機関で連携して支援していこうということがございました。個別にやるのではなくて、この部分は金融機関、この部分は商工会議所、商工会、この部分はサポートセンターで、といったような連携がありました。</p>  |

|               |   |
|---------------|---|
| <p>委員</p>     | <p>たが、コロナ禍で少し疎遠になってしまっておりますので、また連携して伴走型支援に取り組む体制に戻していきたいと思っております。</p> <p>我々の地域の中での企業というのは、大きな企業があまりなく、例えば夫婦でされているというような小規模企業の方が多いかと思えます。</p> <p>新規の開業の話ですが、小規模な町の中でも、今年度開業が2、3件ありました。飲食店が多かったですが、今までなかったことで、これもサポートセンターからの紹介があったり、またはこちらから相談したりということで連携をとってやっていたと思えます。</p> <p>創業者の中にはリタイア組の方や女性の方がおられ、コロナ禍の後でそういう方が増えてくるのではないかと思っております。いきなり大規模な企業を作っていくという方は我々の方ではあまりなく、やはり小規模な事業を始められる方が多いかと思えます。</p> <p>また、補助金については、特にこのコロナ禍の補助金相談ということについては、商工会の事務局員が帰宅できないくらい一生懸命やっていたように思います。細かな支援も必要となってくるので、かなり時間はかかっていたように思います。</p> <p>委員の皆様のお話でもあったように、コロナ禍が終わり、これからは新しいスタートになってくるので、少し世界が変わってくるのではという期待もあります。</p> <p>その中で、我々商工会としてもどういったサポートができるかということは、心掛けてやっていきたいと思えます。</p> |
| <p>オブザーバー</p> | <p>サポートセンターの話が大分出てきましたので、少しご意見申し上げます。</p> <p>三木市の経営革新設備投資補助金ですが、この事業に対する応募者が最近少なくなっているというご指摘がありました。これに関しては、コロナの蔓延が始まった頃から国の方が様々な補助金を出しています。以前からあったものづくり補助金でも、年間3、4回に分けて募集があり、事業再構築補助金についても、年間4回程度募集があるという状況です。また、小さい小規模事業者の持続化補助金などでも、小分けで何回も募集があるというところでは、それらは補助金の補助率が概ね3分の2、あるいは4分の3となっており、さらにコロナの影響を受けているところについては、特に多めに補助されています。</p> <p>それに対し、三木市の経営革新設備投資補助金は通常4分の1補助のところ、経営革新計画の承認、あるいは経営力向上計画の認定を取っておれば3分の1になるというところで、その補助率の面で見劣りしており、数ある国の補助金の方に申請が流れていってしまっているというところでは、</p> <p>また、市の補助金は申請のタイミングが非常に限られており、そこに合わせないと応募できないし、採択もされないという、そういう状</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
| <p>委員</p> | <p>況があります。そういった中で、国の補助金の方に流れていったものと思います。</p> <p>ただ、国の補助金も最近是非常に審査が厳しくなっており、採択された後や交付申請の段階で補助金額が削られたり、実績報告でもなかなか最終の補助金交付の段階にいかなくなったりということで、非常に難しくなっています。このため、補助金自体の申請を敬遠するような傾向も最近感じています。</p> <p>そういう意味では三木市の場合、補助率は低いけれども、比較的審査は柔軟に対応するという特徴があります。そのあたり、補助金が国の方に流れたという点と、補助率が低いけれど比較的柔軟であるという、そういった状況があるというところです。</p> <p>先ほどDXの話が出ましたが、ご存知のようにDXというものも最近出てきた用語で、その定義の方も非常に難しい。国の方でもIT導入補助金等によりDXを推進していますが、非常に複雑です。例えば補助金を申請し、これがDXに該当するのかどうかということが、採択されるまでわからないということもあります。また、採択されなかったら、何が原因で採択されなかったかということもはっきり分かりません。</p> <p>ですので、私は三木市でDX枠というのを設けるのであれば、事例を示すとか、セミナー等により事業者によく説明するといったことが、当然必要だと思います。三木市なりの定義でいいと思いますので、ハードも多少含めて、ソフトがらみの形なら対象とするとか、補助対象の幅をもって、DXがらみであれば機械であっても加点するといったことが必要だと思います。</p> <p>先ほど言われた通りだと思います。</p> <p>国の補助金の方は、申請してもテクニク的なところで申請が採択されるなど、それを商売にしているような会社もあります。実際にそういったところに依頼した方が採択されるようなこともあり、中小企業からするとハードルが高い部分があります。</p> <p>私どもの会社でも、二回目、三回目の申請から徐々にハードルが上がり、次に申請した時には何故か採択されなかったというところで、もう時間の無駄だから申請をやめようということがありました。</p> <p>先ほど言われたとおり、三木市の場合、補助対象をはっきり明示し、ハードルを下げれば多くの企業が申請されるのではないかと思います。ぜひそういう方向でやっていただければ、利用される企業も増えるのではないかと思います。書類を作成する段階でテクニクを要するというようなことだと、企業は申請しないのではないかと思います。</p> <p>申請のハードルが低ければ、こういう申請をしたらこういう補助金がもらえ、こういう機械入れることができた、DXでソフトを入れたというような情報が、口コミで商工会議所などから広がっていくので</p> |
|-----------|---|

|            |  |
|------------|--|
| <p>委員長</p> | <p>はないかと思いますので、今おっしゃったようなことをやっていただければ、大変助かると思います。</p> <p>ご質問ご意見、ありがとうございました。<br/> それでは意見も出尽くしたようですので、次に議事第（２）、令和５年度の審議会スケジュールについてご説明をお願いします。</p>   |
| <p>事務局</p> | <p>資料７「今後の三木市中小企業振興審議会スケジュール」について説明</p>  |
| <p>委員長</p> | <p>説明ありがとうございます。<br/> それでは、委員の皆様ご質問はありますでしょうか。</p> <p>（質問なし）</p> <p>今回は任期の更新から１回目の審議会ということもあり、事務局からの説明が主となりました。事務局からも説明があった通り、来年度には新たな中小企業振興のためのアクションプランを策定します。次回以降新しいプランの策定に向けて、委員の皆様からご意見、ご提案をいただきながら、最終的に答申という形で取りまとめていきたいと思います。<br/> それでは、委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご協議を賜り、ありがとうございました。</p> |

8 閉 会